

第3回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会議事の要旨

平成27年 3月17日（火）

午後2時00分～2時45分

豊明市役所3階 会議室2

1 副委員長あいさつ

辰野委員長が欠席したため、岩名副委員長が代理であいさつし議事の進行を行う。

2 議 事

（1）第4期豊明市障害福祉計画（最終案）について

資料1-1・1-2に基づき、第4期豊明市障害福祉計画の最終案について前回会議時の素案からの変更点を中心に事務局から説明。

（2）第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について

資料2-1・2-2・2-3に基づき、第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について事務局から説明。

主な質疑応答と意見

（1）第4期豊明市障害福祉計画（最終案）について

質疑なし。

（2）第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について

Q 資料2-2 1ページの親子福祉入門教室中の児童・青少年のボランティア体験について、対象者は中学生全員なのか。

A 26年度実績としては中学生146名。学年を限定し希望者を募る形で募集している。

Q 全体的に見て計画の進捗割合はどの程度なのか。

A 事業の参加人数等の実績は予定通りで、おおむね順調である。

Q グループホームは現状では足りていると思うか。

意見 足りていない。物件確保の問題がある。

空き家や空き施設の活用などの対策を行ってはどうか。

A グループホームの不足は、市としても喫緊の課題と捉え取り組んでいく。市が直営で施設を整備する形では実現が難しいので、民間の事業所に働きかけ、事業所の整備計画とすり合わせをしながら整備していく。空き家活用に対して

は市全体で取り組む動きがあるため、活用に向けて検討する。また空き施設の活用については、現在維持管理の方向性を市全体で検討している。今後空き施設の障害福祉への活用を対応策の一つとして検討していく。

意見 知的障がいを持つ人の歯科治療は対応が難しく、愛知県コロニーまで行くケースが多い。市内で診察してくれる歯科があればと思うので、歯科医師会でも良い案を検討していただきたい。

歯科でも往診対応が可能で、それを知らない人が多い。歯科医師会としても出来る範囲で協力していきたい。

出席委員 岩名 昭文、近藤 二、平野 雅紀、三浦 美智子、早川 要、
森井 曜子、中山 広一、松森 正起、近藤 津多子、三好 順子、
小倉 裕子、橋口 寿美子

敬称略

傍 聴 者 0名

事 務 局 社会福祉課長、社会福祉課長補佐、児童福祉課長補佐
障がい社会係主査、基幹相談支援センター長